

らいおんしんぶん

2025. 9. 3 吉川保育所

～みんなのつどい

インドネシアの文化にふれました～8/28

インドネシア出身（現在池田市在住）のアユ プジャン アルダエヌさんに来ていただいて、幼児クラスの子どもたちにインドネシアのことを教えていただきました。

なぜ、アユさんが日本に来たのか、インドネシアがどんな国か子どもたちは興味津々にスライドを見ていました。インドネシアにはいろいろな肌の色の人がいること、日本と同じ島国で、島によってトラやオランウータンなどの動物がいること、いろいろな形の家があることなどを知り、真剣に見ていました。バティック模様の服も見せてもらいました。

あそびの紹介ではインドネシアのじゃんけんや『頭（ケパラ）肩（ブンダック）膝（ルトゥツ）』の手あそびも教えてもらい、アユさんが持ってきてくれた絵本『お母さんのいない一日』というインドネシアのオランウータンの話では、インドネシア語と日本語で読んでくださり真剣に聞いていました。

最後に『さようなら』という歌を教えてもらい、アユさんと一緒にみんなで歌いました。



～絵本のあらすじ～ 親子でバナナを獲って食べていましたが、もっと食べたいと子どもが大泣きしました。そこで、お母さんがバナナを探しに行きました。そのまま帰らず会えなくなって困っていたら、保護センターの人に連れていかれて…。そこでお母さんと再会して、ホッと安心するお話です。



インドネシアのじゃんけん

インドネシアのじゃんけんは、「スイー」っていうんだよ。



日本とは指の出し方も違い、ゾウ・人・アリが出てきます。

「アリは集団でゾウの耳に入るからアリは強いんだよ」と教えてもらいました。

いろんな方法があって面白いなあ。

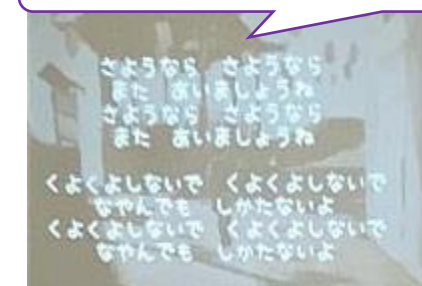
手あそび



階段の途中に貼っています。



さようならのうたを日本語に訳すと



英語の『♪ Head shoulders needs and toes』と同じ曲です。

終わってから、「インドネシアの人来てくれてん」と嬉しそうに伝える子どもたちや「じゃんけんをしよう！」と教えてもらったじゃんけんを楽しんでいる子もいました。最後の「さようなら」の歌も部屋で「♪さようなら さようなら～♪」と口ずさんでいる子もいました。今回、アユさんに来ていただいて、インドネシアの文化やあそびに触れることができ、世界にはいろいろな文化があることを知りました。今年度の研究課題の『みんなちがって みんないい』では“ゲストティーチャーとの出会いを通じて、さまざまな文化にふれる”をねらいにしています。子どもたちにとって今回の経験は、知らない世界と出会う楽しさを実感するよいきっかけになったのではないかと思います。なお、階段には当日のパネルも掲示しています。ご家庭でも国際的な文化に親しむきっかけにいただければと思います。